

U/Cサーバ 10.1.0 インストールマニュアル

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

Microsoftとそのロゴ、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、WordPadは米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe AIRは、Adobe Systems Incorporated. (アドビ システムズ社) の商標または登録商標です。

Apache Tomcatは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

PostgreSQLは、PostgreSQLの商標または登録商標です。

その他、各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2014/10/30	新規作成
2	2017/08/30	システム名称変更 サポートデスク名称変更

1.	はじめに	5
1.1.	名称について.....	5
1.2.	U/Cサーバの動作環境について.....	5
1.2.1.	ハードウェア.....	5
1.2.2.	ソフトウェア.....	6
1.2.3.	ネットワーク.....	6
1.2.4.	U/Cサーバ動作条件.....	6
2.	U/Cサーバのインストール	7
2.1.	インストール手順.....	7
2.2.	手動設定手順.....	18
2.2.1.	ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール).....	18
2.2.2.	データベース初期データ登録.....	18
2.2.3.	移行の実施.....	19
2.2.4.	U/Cプログラムの起動設定.....	20
2.2.5.	アプリケーションの関連付け.....	22
2.2.6.	OSの再起動.....	23
2.2.7.	IP-VPN利用時設定手順.....	24
2.2.8.	TaskManager・SystemManagerを別端末にインストール.....	25
3.	U/Cサーバのアンインストール	26
3.1.	アプリケーションのアンインストール.....	26
3.1.1.	TaskManagerのアンインストール.....	26
3.1.2.	SystemManagerのアンインストール.....	26
3.1.3.	データベース (PostgreSQL) のアンインストール.....	27
3.1.4.	広告EDI UCSのアンインストール.....	28
3.2.	アンインストール時不要設定解除作業.....	30
3.2.1.	ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール).....	30
3.2.2.	データベースのデータを削除.....	30
3.2.3.	U/Cインストールフォルダを削除.....	30
3.2.4.	システム環境変数を削除.....	30
	付録A. Windowsファイアウォール設定手順	32

1. はじめに

このマニュアルは、「U/Cサーバ バージョン10.1.0(以下、U/Cサーバ)」のインストール操作および環境設定方法等について記述したものです。

1.1. 名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- PostgreSQL
U/Cサーバが使用するデータベースです。
- Apache Tomcat
U/Cサーバが使用するアプリケーションサーバです。
- Adobe AIR
SystemManagerとTaskManagerを実行するためのランタイムライブラリです。
- SystemManager
広告取引EDIシステムと通信するための設定等を表示・入力するクライアント画面です。
- TaskManager
データ交換を行うためのスケジュール登録などを行うクライアント画面です。
- UCController
U/Cサーバ全体を管理する機能です。
- ScheduleController
U/Cサーバのスケジュール起動を管理する機能です。

1.2. U/Cサーバの動作環境について

U/C サーバの動作環境は以下の通りです。

1.2.1. ハードウェア

表 1-1 U/C サーバ動作環境(ハードウェア)

環境	条件
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	U/Cサーバインストール時に必要なディスク容量 約500MB

1.2.2. ソフトウェア

表 1-2 U/C サーバ動作環境(ソフトウェア)

環境	条件
OS	Windows Server 2012 Standard (64bit) Windows Server 2012 R2 Standard (64bit) TaskManager、SystemManagerを別端末で利用する場合は以下OSでご利用ください。(インストール手順等は、「2.2.8TaskManager・SystemManagerを別端末にインストール」を参照ください。) Windows 7 Professional Service Pack 1 (32bit/64bit)
ミドルウェア	Adobe AIR ランタイム バージョン3.5以上 ※Adobe社から無償配布されています

1.2.3. ネットワーク

下記どちらかのネットワーク環境が整っている必要があります。

表 1-3 U/C サーバ動作環境(ネットワーク)

環境	備考
インターネット接続(TLS接続)	お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。
IP-VPN接続	ご利用にあたっては別途料金が発生します。 詳細は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

1.2.4. U/Cサーバ動作条件

U/Cサーバは以下の条件で動作します。

- 動作環境のOSおよびミドルウェアが正常に動作していること
- ネットワーク設定が行われており、通信ができる状態であること

2. U/Cサーバのインストール

本節ではU/Cサーバのインストールを行います。
インストールは次の順番で行われます。

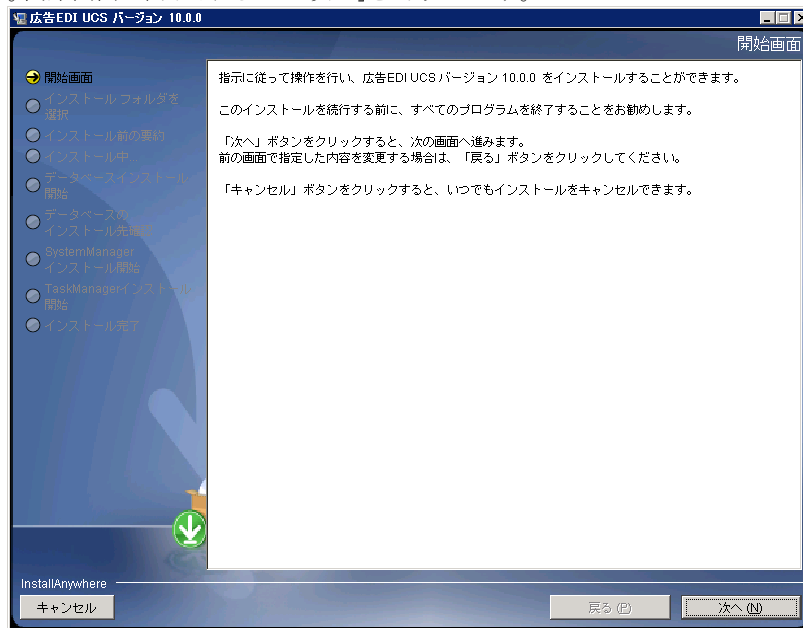
- 1) 広告EDI UCSのインストール
- 2) データベース(PostgreSQL)のインストール
- 3) SystemManagerのインストール
- 4) TaskManagerのインストール

また、インストール後に手動で以下作業を行う必要があります。

- 5) ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール)
- 6) データベースへの初期データ登録
- 7) U/C プログラムの起動設定
- 8) U/C プログラムの開始

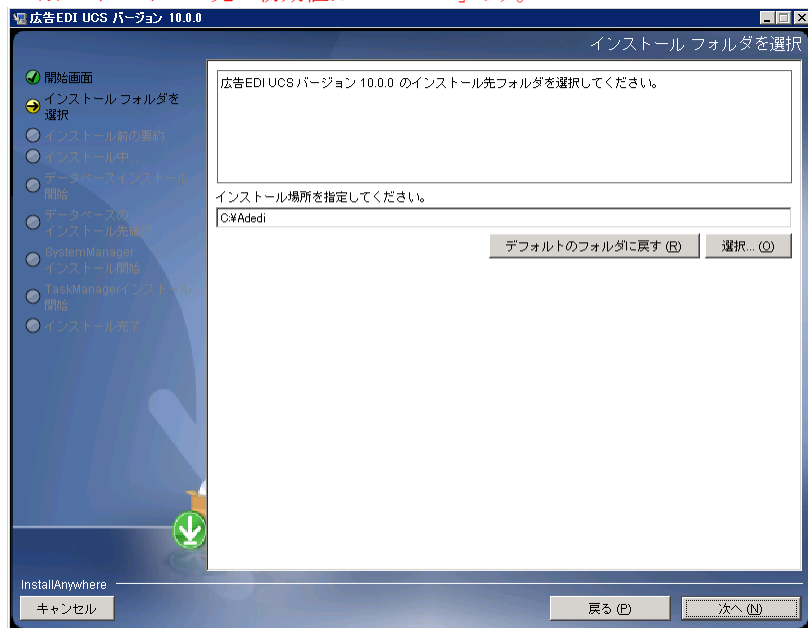
2.1. インストール手順

◆U/CサーバのインストールディスクをCD-ROMドライブにセットし、その中のインストーラファイル(setup.exe)を実行します。開始画面が表示されるので「次へ」をクリックします。

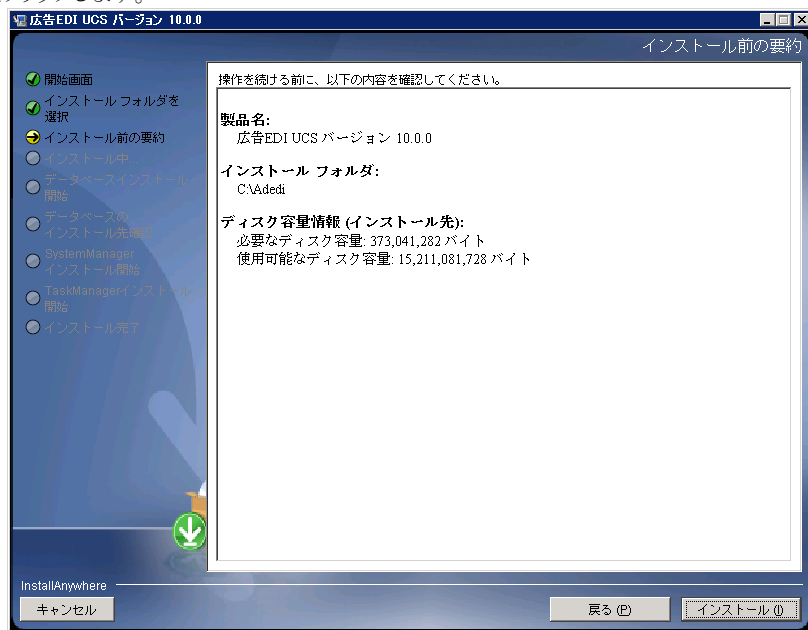


◆インストールフォルダ先の選択画面が表示されるので、インストール場所を選択し「次へ」をクリックします。

※ インストール先の初期値は「C:\¥Adedi」です。

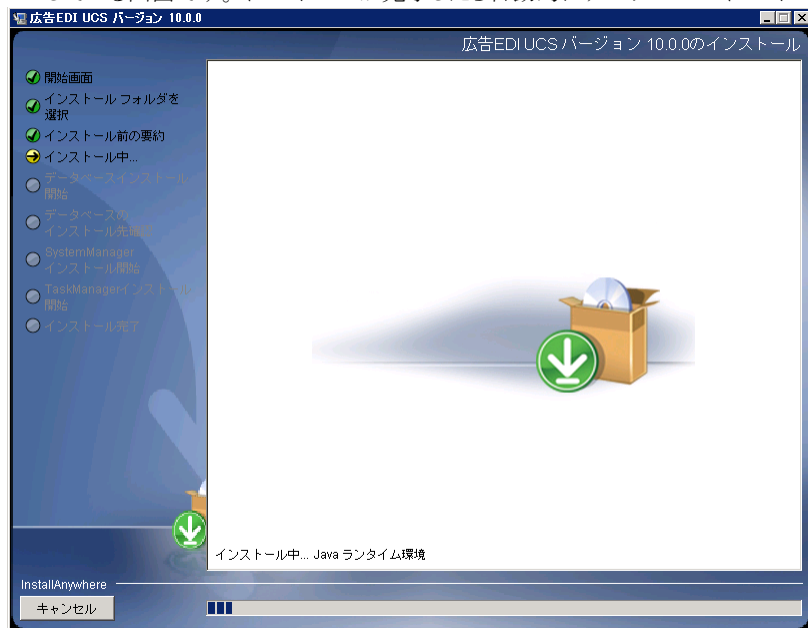


◆インストール前の要約画面が表示されるので、インストール フォルダに問題がないことを確認して「インストール」ボタンをクリックします。

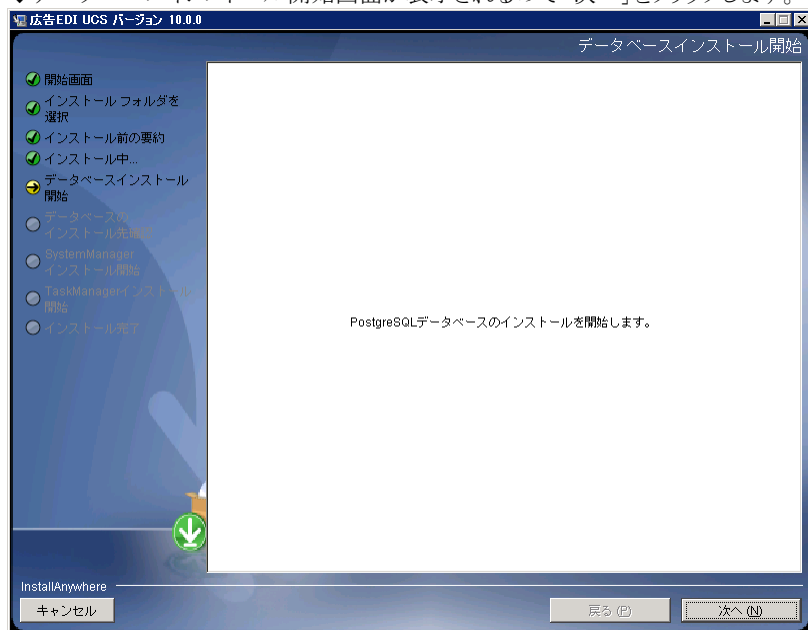


※「インストール」ボタンをクリックし次の画面でインストールが完了すると、以降の手順で「キャンセル」を選択した場合でも、UCSアプリケーションはアンインストールされません。不要な場合は「3. U/Cサーバのアンインストール」を参照して削除してください。

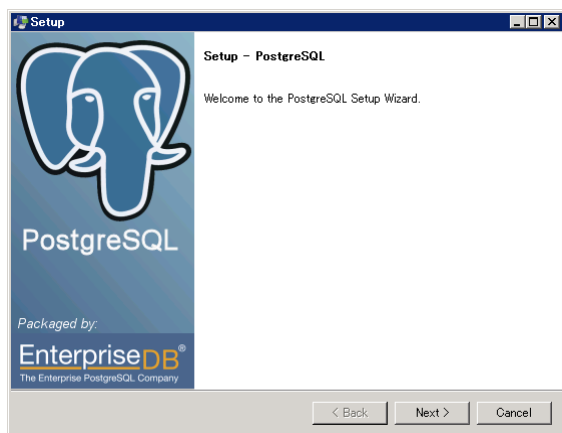
◆ 広告EDI UCSのインストール画面が表示されます。U/CサーバおよびApacheTomcat (アプリケーションサーバ)をインストールしている画面です。インストールが完了したら自動的にデータベースインストール開始画面になります。



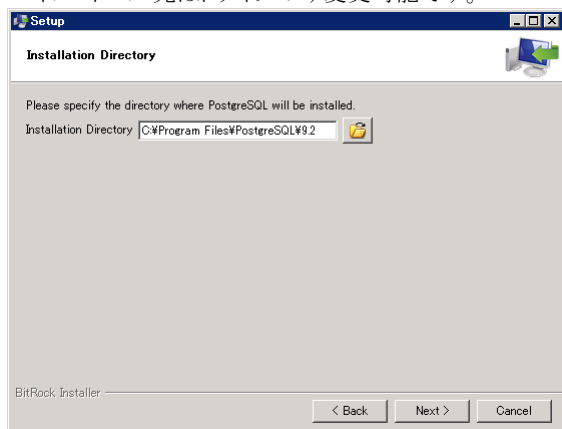
◆ データベースインストール開始画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



◆PostgreSQL (データベースアプリケーション) のインストール画面が新規に立ち上がります。「Next >」をクリックし、PostgreSQLのインストールに進みます。
PostgreSQLのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

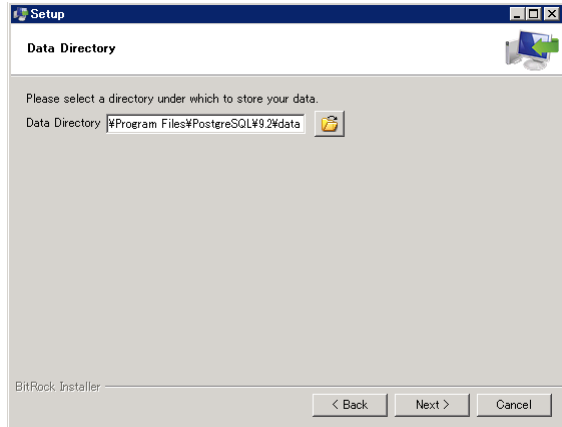


◆PostgreSQLのインストール先選択画面です。インストール先を選択し「Next >」をクリックします。
インストール先はドライブのみ変更可能です。



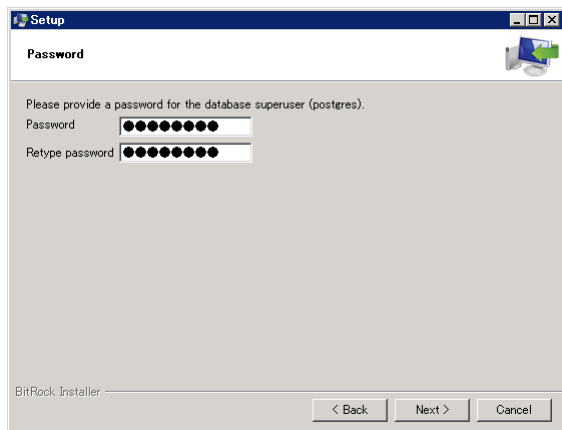
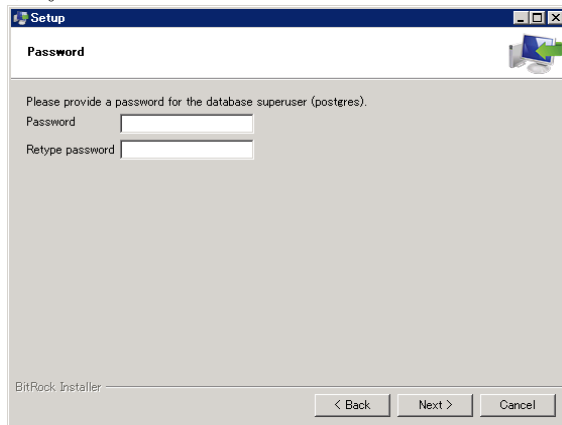
◆データベース情報保管先選択画面です。保管先を選択し「Next >」をクリックします。

※ 保管先は「PostgreSQLのインストール先と同じフォルダパス\data」を指定してください。



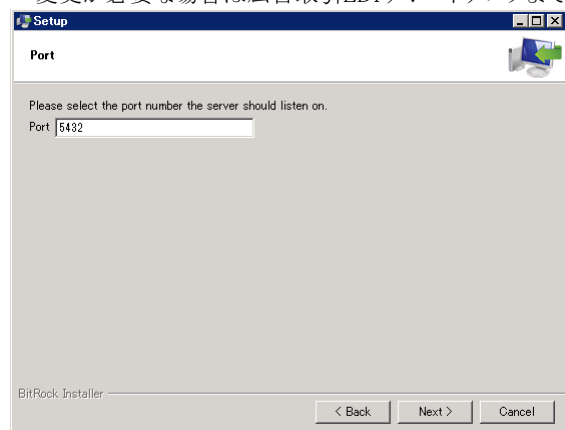
◆パスワード入力画面です。「postgres」と入力し「Next >」をクリックします。

セキュリティポリシー等の都合によりパスワードの変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



◆ポート番号設定画面です。変更せずに「Next >」をクリックします。

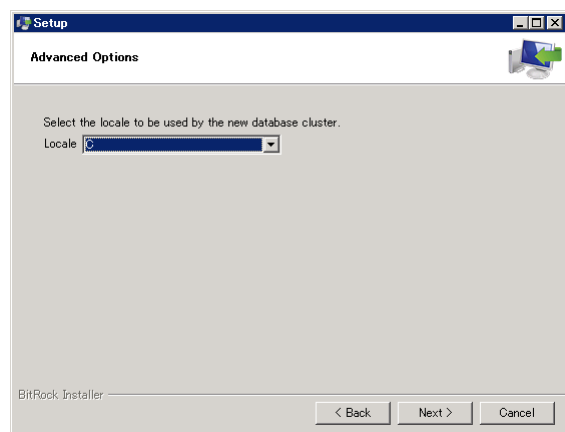
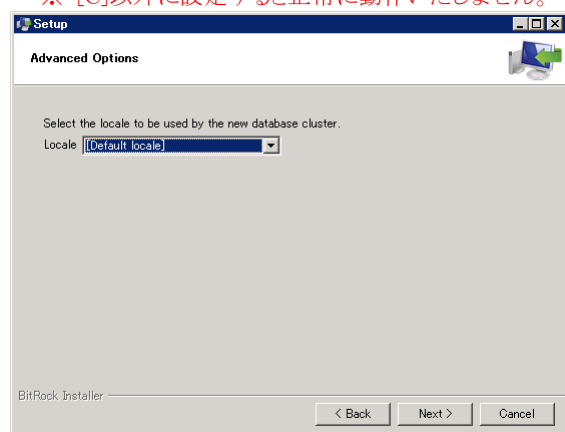
変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



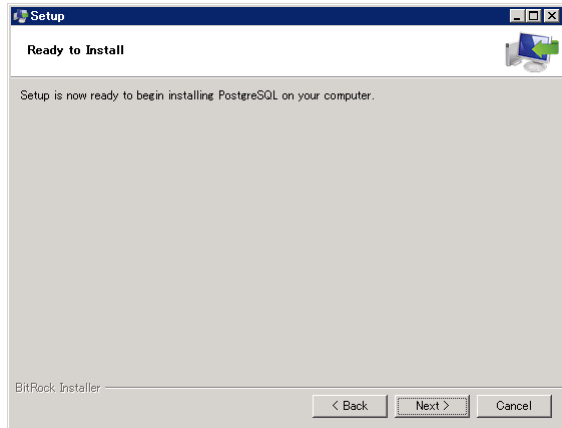
◆設定情報選択画面です。

Localeの設定が初期値では [Default locale] となっているので [C] に変更し「Next >」をクリックします。

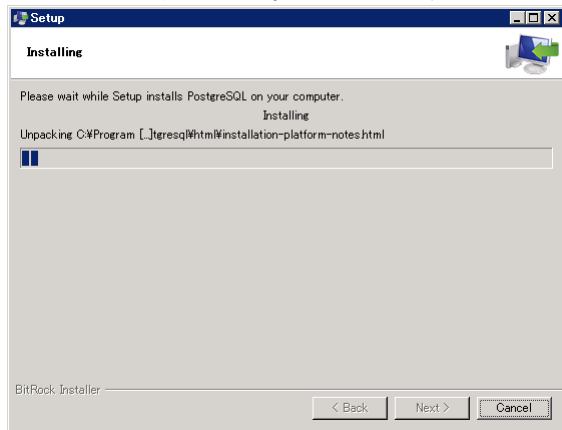
※ [C]以外に設定すると正常に動作いたしません。



◆インストール準備完了画面です。「Next >」をクリックしてインストールを実行します。

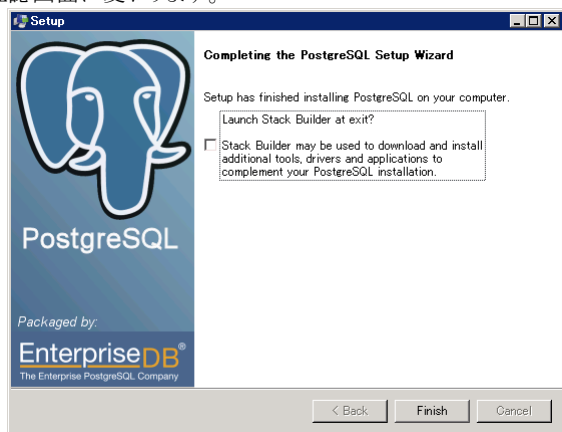


◆インストール中画面です。インストールが完了したら自動で次の画面に変わります。

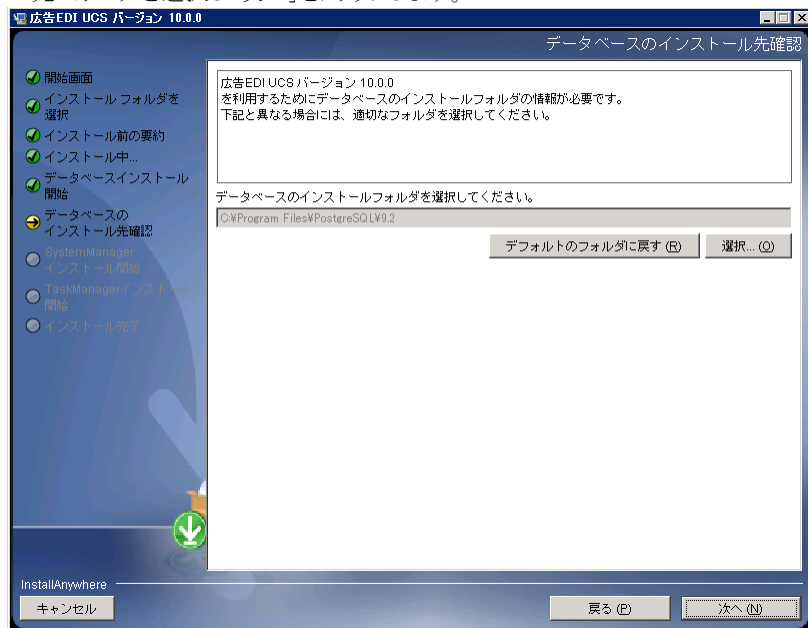


◆インストール完了画面です。チェックボックスのチェックを外し、「Finish」をクリックします。

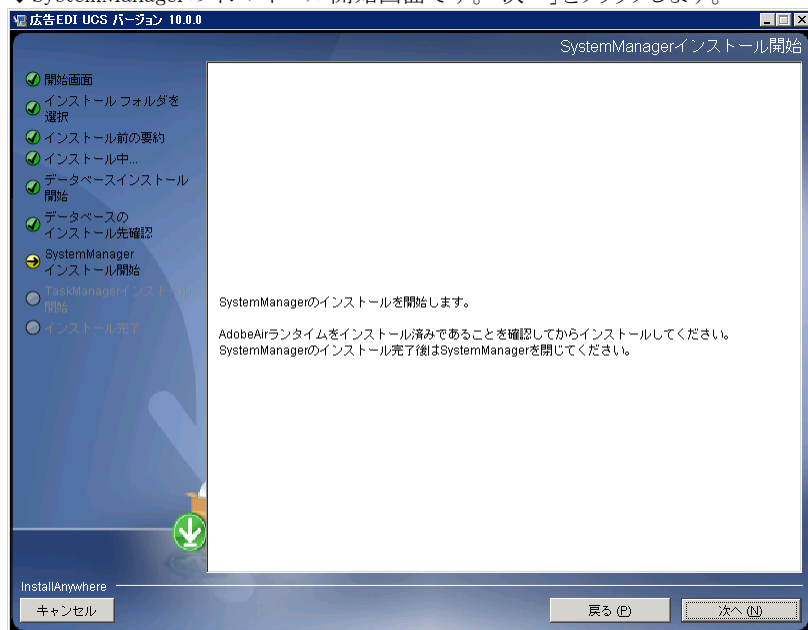
「Finish」をクリックするとPostgreSQLのインストール画面が閉じられ、U/Cインストーラがデータベースのインストール先確認画面に変わります。



◆データベースのインストール先確認画面です。PostgreSQLのインストール先を変更した場合には、「選択」からインストール先フォルダを選択し「次へ」をクリックします。

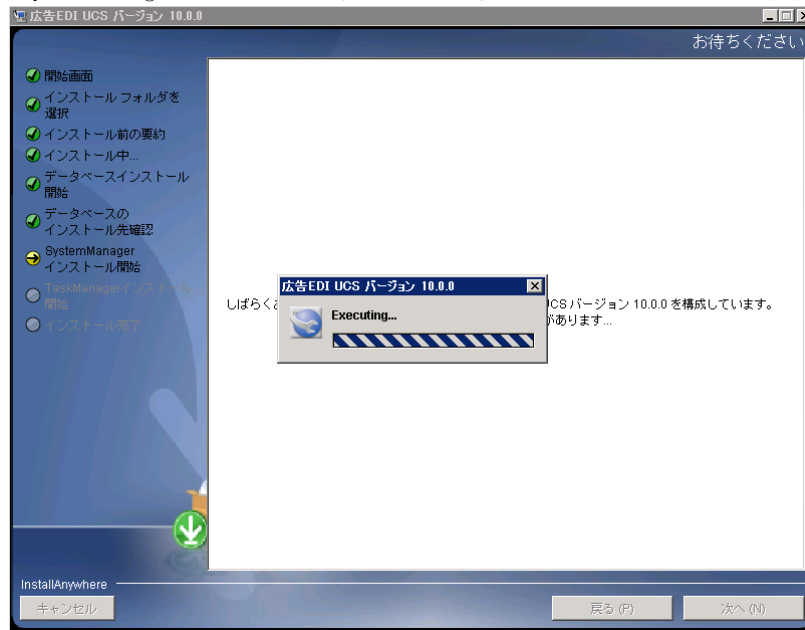


◆SystemManagerのインストール開始画面です。「次へ」をクリックします。

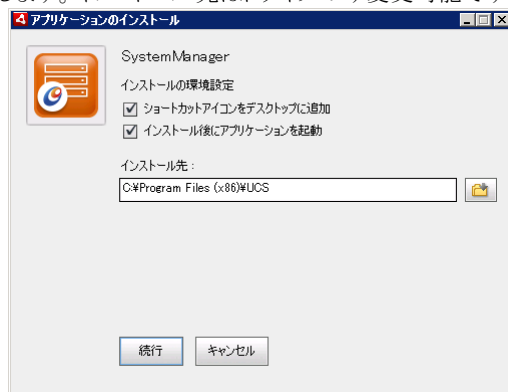


◆SystemManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。

SystemManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

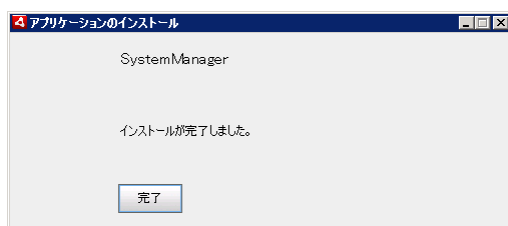
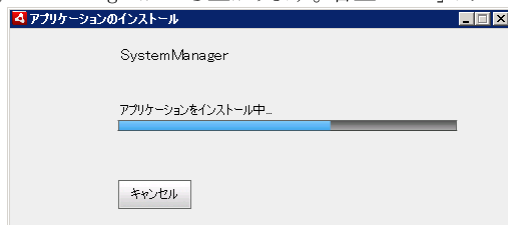


◆SystemManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックしSystemManagerをインストールします。インストール先はドライブのみ変更可能です。

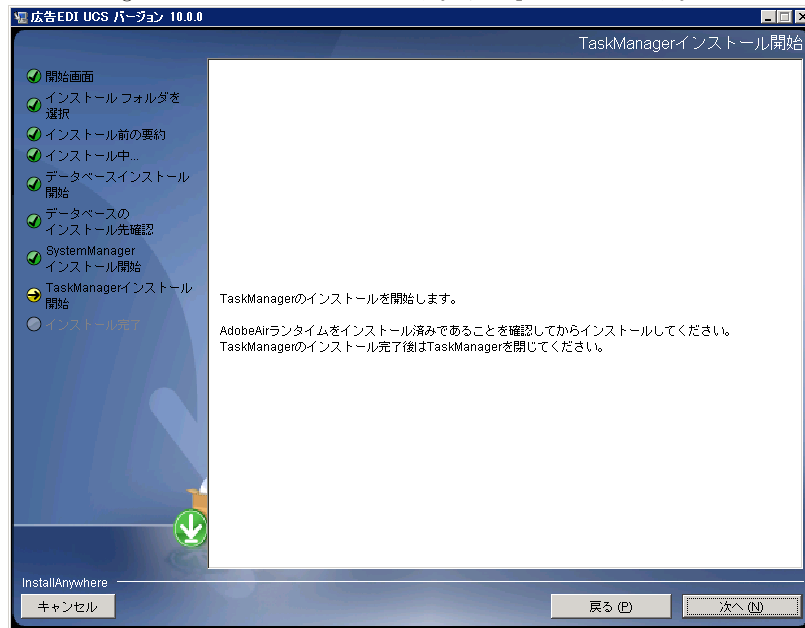


◆インストール画面です。インストールが完了したら、自動で完了画面になります。「完了」をクリックしてU/Cサーバのインストーラに戻ります。U/Cサーバのインストーラは自動でTaskManagerのインストール開始画面になります。

インストール設定画面において「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、自動でSystemManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからSystemManagerを終了してください。



◆TaskManagerのインストール開始画面です。「次へ」をクリックします。

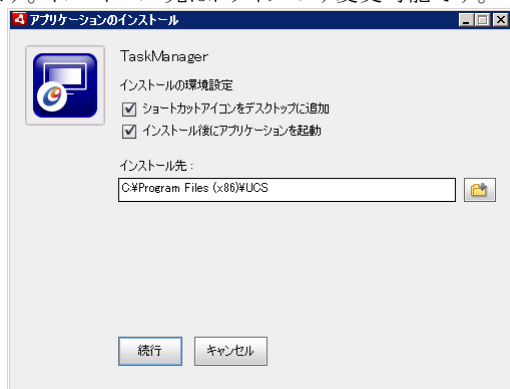


◆TaskManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。

TaskManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

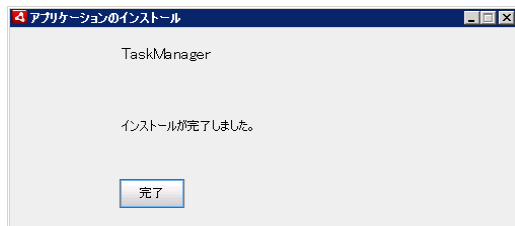
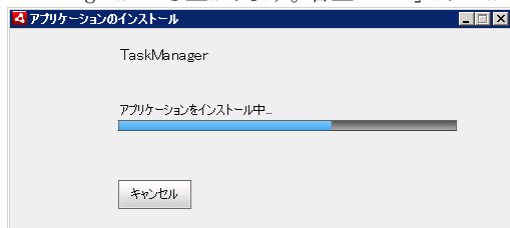


◆TaskManagerのインストール設定画面です。インストール先を選択後、「続行」をクリックしTaskManagerをインストールします。インストール先はドライブのみ変更可能です。

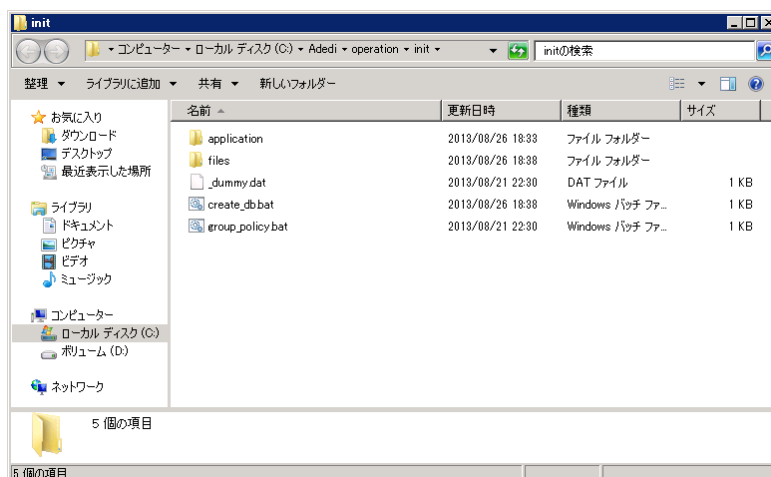
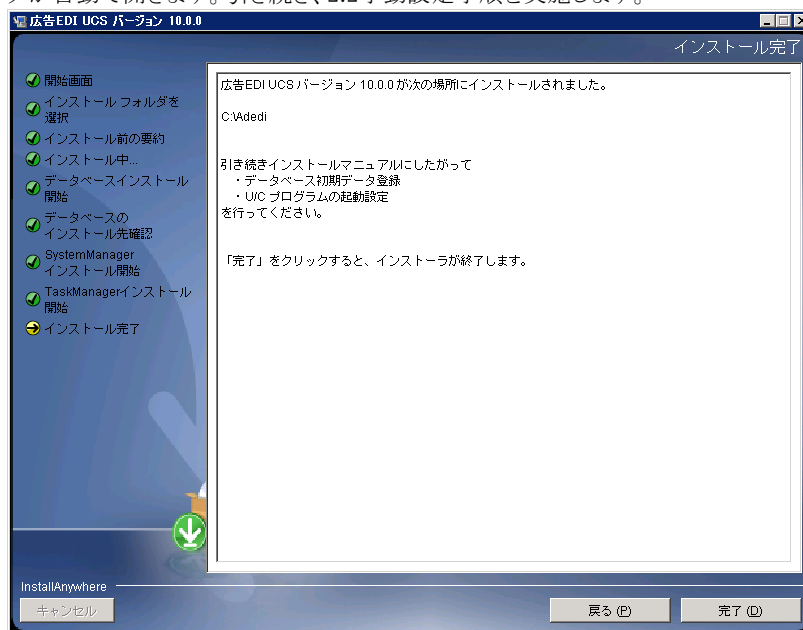


◆インストール画面です。インストールが完了したら、自動で完了画面になります。「完了」をクリックしてU/Cサーバのインストーラに戻ります。U/Cサーバのインストーラは自動でインストール完了画面になります。

インストール 設定画面において「インストール後にアプリケーションを起動」にチェックをつけていた場合、自動でTaskManagerが立ち上がります。右上の「×」ボタンからTaskManagerを終了してください。



◆インストール完了画面です。「完了」をクリックするとインストーラが終了し、手動登録で使用するファイルが置かれたフォルダが自動で開きます。引き続き、2.2手動設定手順を実施します。



2.2. 手動設定手順

2.2.1. ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール)

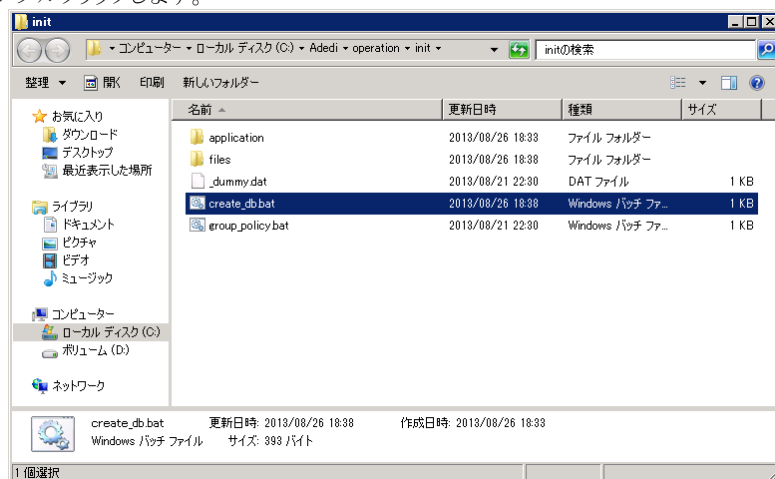
U/Cサーバでは以下の通信ポートを使用します。Windowsファイアウォール等でポートの制限を行っている場合にはポートの使用を許可してください。Windowsファイアウォールにおけるポートの使用許可設定は、付録を参照してください。

表 2-1 U/C サーバで使用する通信ポート

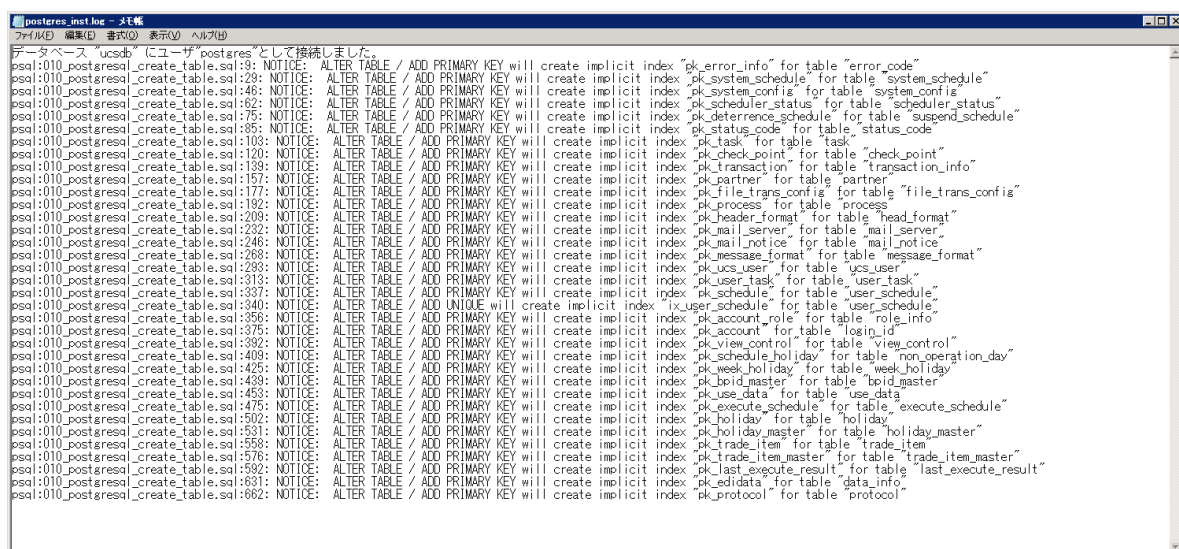
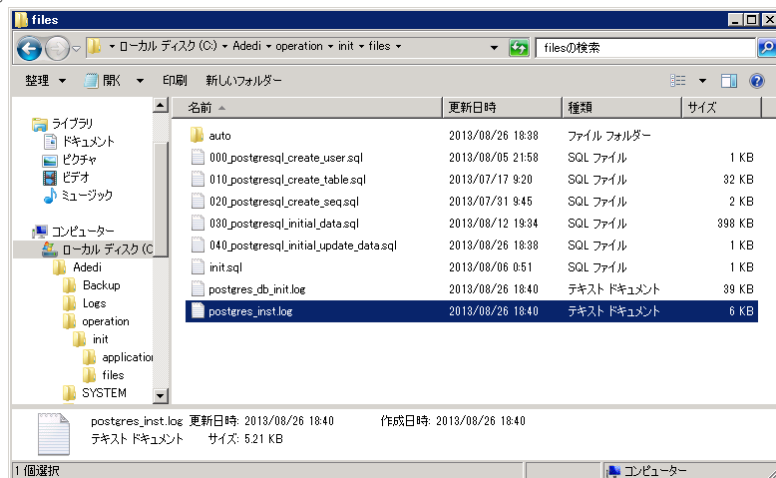
ポート番号	用途
443	U/Cサーバより広告取引EDIシステムへインターネット接続(TLS通信)でデータを送受信する際の通信時に使用します。(※本ポートのみ外部への接続に利用します)
8080	クライアント画面よりU/Cサーバへの接続に使用します。
8005	Apache Tomcatを停止する際に使用します。
5432	PostgreSQLで使用します。
4561	U/Cサーバからログを出力するために使用します。
6520	UCControllerを停止する際に使用します。
6521	ScheduleControllerで使用します。

2.2.2. データベース初期データ登録

インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ (U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥) にある、ファイル「create_db.bat」をダブルクリックします。



ダブルクリックすると、データベースに初期データが登録されます。filesフォルダに出力されたログファイル「postgres_inst.log」を確認し、インストール時にエラーが発生していないことを確認してください（ログファイルにERRORと出力されていないことを確認してください）。エラーが発生した場合は、広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。



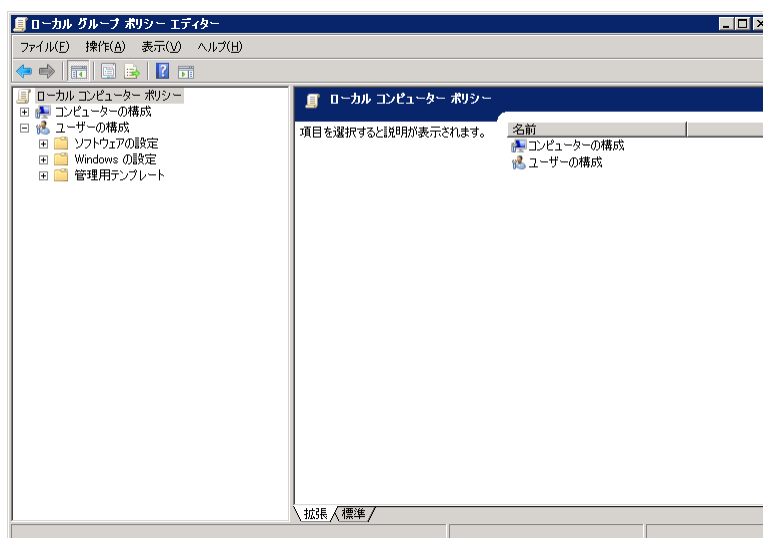
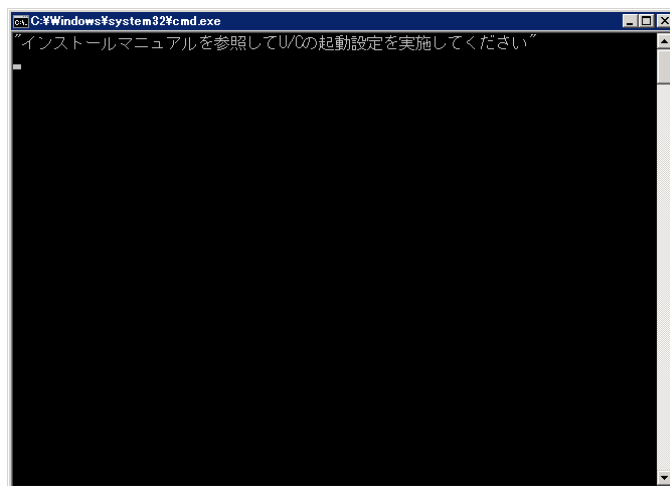
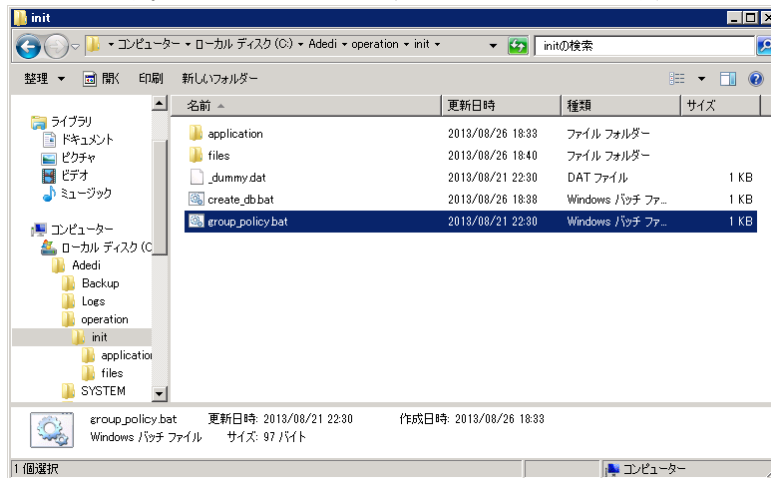
※「ALTER TABLE」の前に「ERROR」という文字列が存在しないことを確認します。

2.2.3. 移行の実施

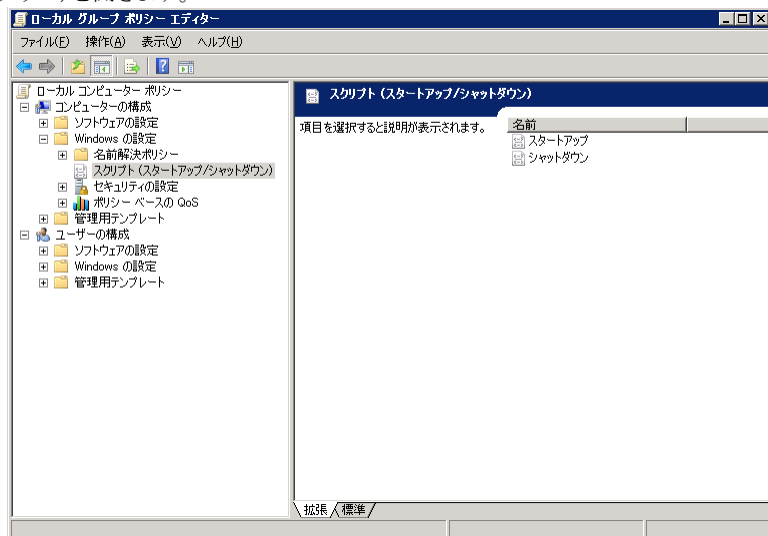
現在、U/C バージョン 5.0.0 以前をお使いで、その環境を U/C バージョン 10.1.0 に移行する場合は、別紙「UC移行ツール利用マニュアル」を参照し、移行を実施してください。

2.2.4. U/Cプログラムの起動設定

インストーラ実行完了後に開かれたフォルダにある「group_policy.bat」をダブルクリックし、ローカルグループポリシーエディタを起動します。グループポリシーエディタの起動にはしばらく時間がかかります。



ローカルグループポリシーエディタにおいて、コンピュータの構成 > Windows の設定 > スクリプト(スタートアップ/シャットダウン)を開きます。



スタートアップをダブルクリックしてプロパティ画面を開き「追加」ボタンから[表 2-2 スタートアップ登録内容]を登録します。同様に、シャットダウンから[表 2-3 シャットダウン登録内容]を登録します。

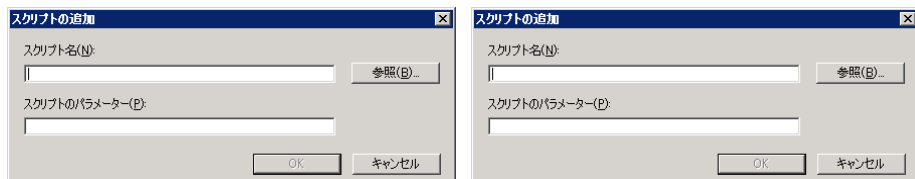
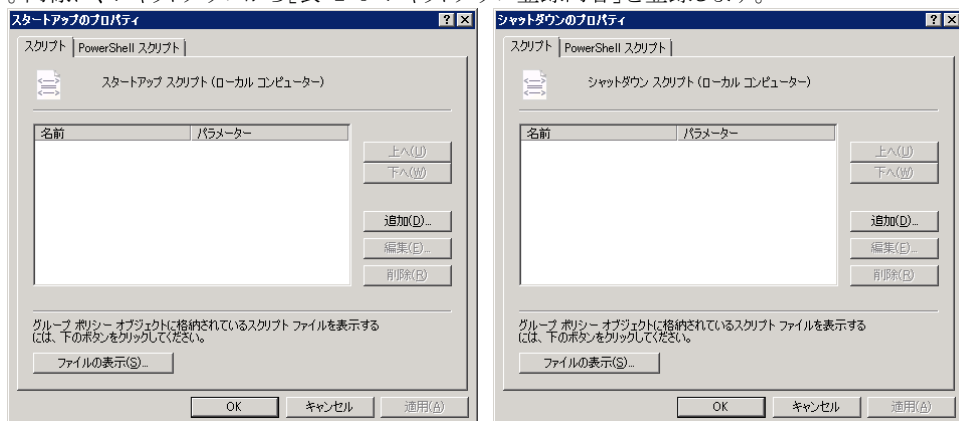


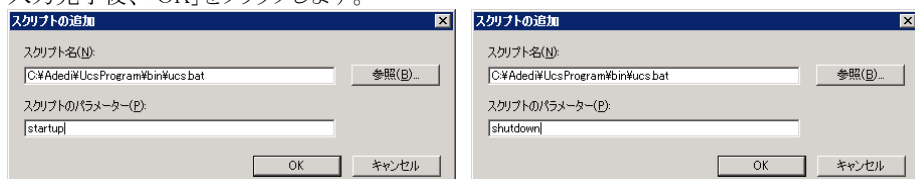
表 2-2 スタートアップ登録内容

名前	パラメータ
(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat	startup

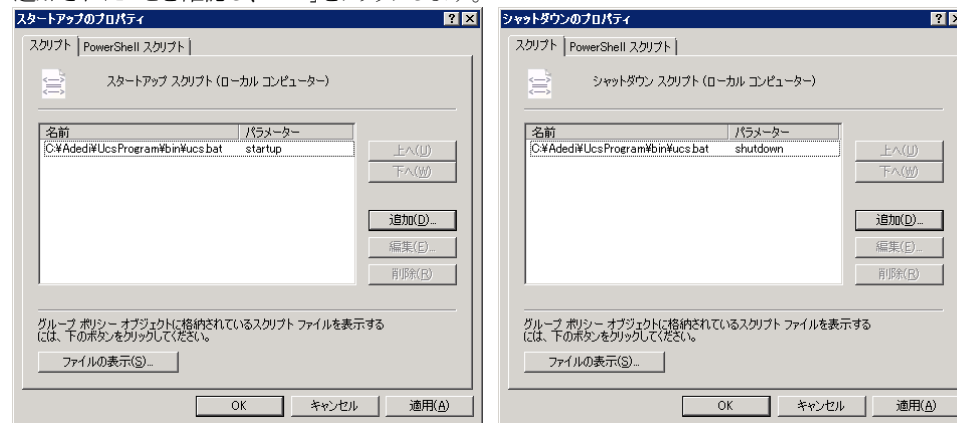
表 2-3 シャットダウン登録内容

名前	パラメータ
(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat	shutdown

入力完了後、「OK」をクリックします。



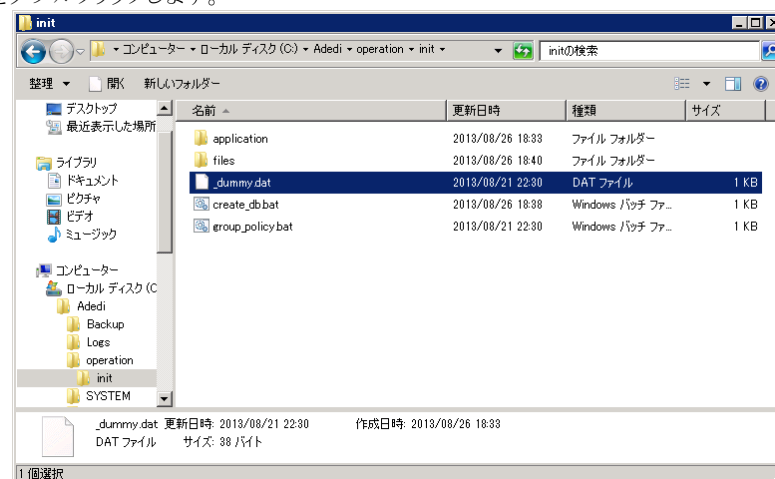
追加されたことを確認し、「OK」をクリックします。



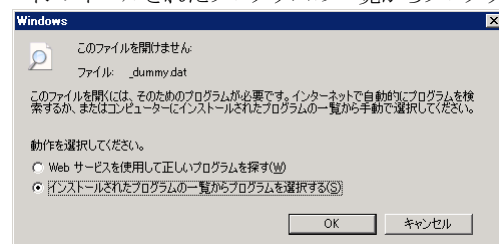
設定後、「OK」をクリックしグループポリシーエディタに戻り、右上の「×」によりグループポリシーエディタを終了します。

2.2.5. アプリケーションの関連付け

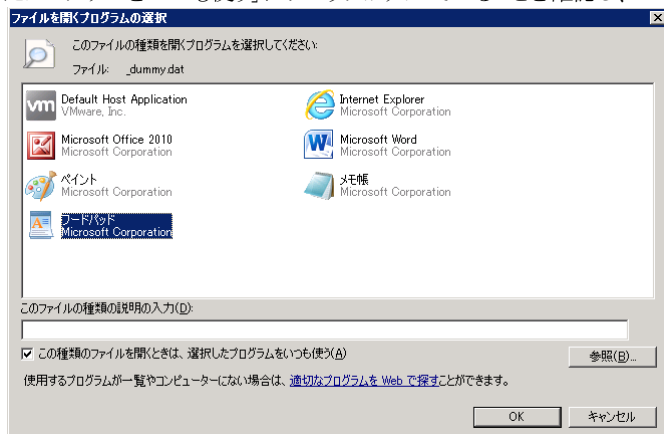
U/Cでは画面からDATファイルを開くのにワードパットを利用します。そのため、本手順によって拡張子の関連付けを行います。インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ (U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥) にあるファイル「_dummydat」をダブルクリックします。



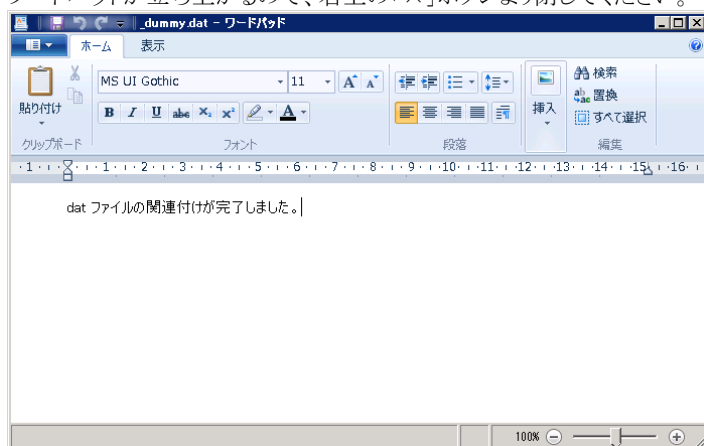
「インストールされたプログラムの一覧からプログラムを選択する」を選択し、「OK」をクリックします。



ファイルを開くプログラムの選択画面が表示されるので、「ワードパット」を選択し、「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックします。



ワードパットが立ち上がるので、右上の「×」ボタンより閉じてください。



2.2.6. OSの再起動

これまでの手順を実行後、OSの再起動を実施してください。再起動後、U/Cサーバが利用可能となります。

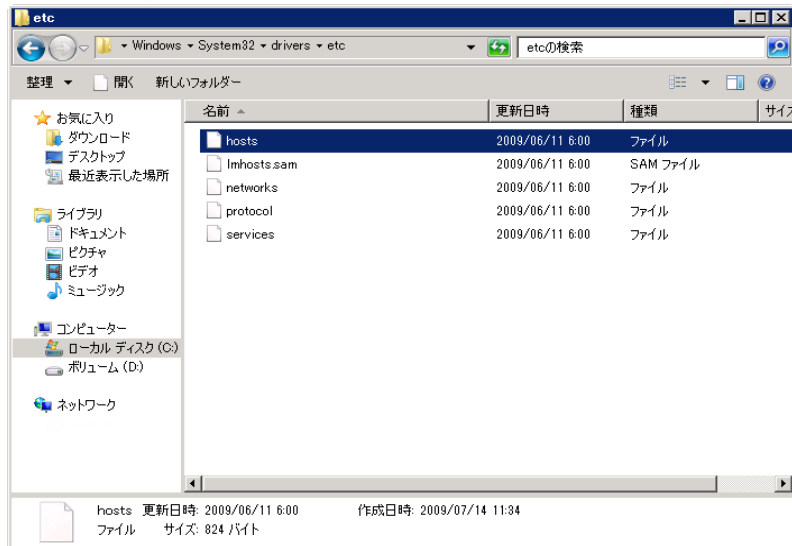
2.2.7. IP-VPN利用時設定手順

通信回線にIP-VPNをご利用のお客様は、U/Cサーバのhostsに通信設定を追加する必要があります。

以下手順に従って、hostsに設定を追加してください。

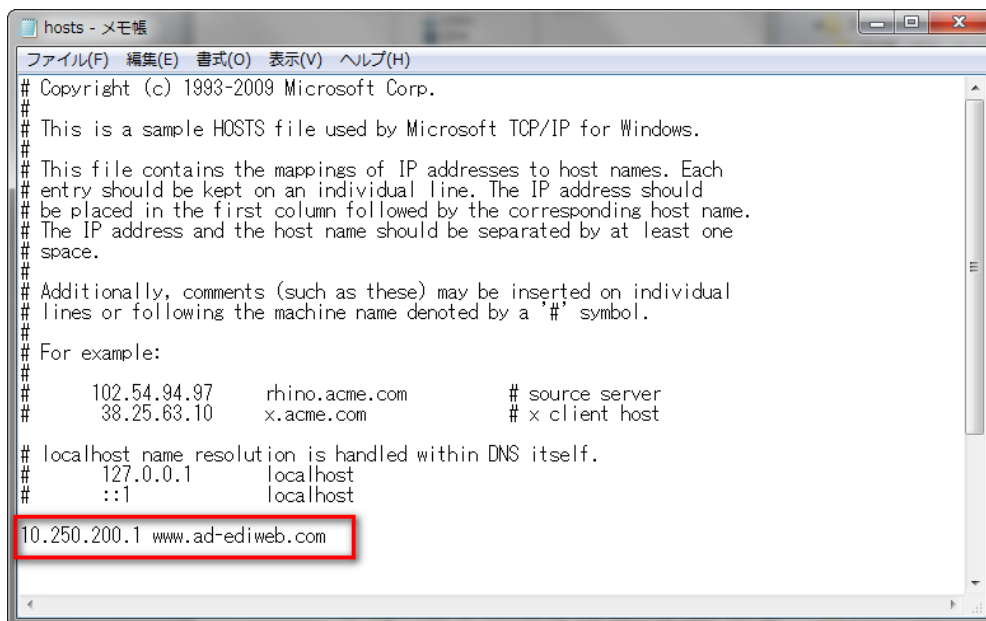
※ 本手順はインターネット回線をご利用のお客様は実施不要です。

通信設定を行うため、hosts ファイルを編集します。hosts ファイルが保管されているフォルダに (C:¥Windows¥System32¥drivers¥etc) 移動し、hosts ファイルをバックアップしてください。



hosts ファイルを編集します。hosts ファイルをテキストエディタ等で開き、下記一文を追加し、保存してください。

10.250.200.1 www.ad-ediweb.com



2.2.8. TaskManager・SystemManagerを別端末にインストール

TaskManagerとSystemManagerは、U/Cサーバをインストールしたマシン以外の別端末からご利用いただくことが可能です。別端末にインストールしたTaskManagerとSystemManagerから操作を行いたい場合、以下の手順に沿ってインストール・設定を実施してください。

※ 本手順はU/Cサーバのインストール後に実施してください。

※ 別端末から操作を行う必要がないお客様は、本手順の実施は不要です。

- 1) TaskManager・SystemManagerのインストール前に、別端末に以下をインストールしてください。
 - ✓ Adobe AIR ランタイム(<http://get.adobe.com/jp/air/>にて無料配布)
上記URLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。
- 2) U/Cサーバのインストール完了後、TaskManagerおよびSystemManagerのインストーラを下記より取得し、別端末にコピーします。コピーする場所は任意です。
 - ✓ TaskManager
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe
 - ✓ SystemManager
(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
- 3) 別端末にコピーしたTaskManagerおよびSystemManagerのインストーラをそれぞれダブルクリックで実行し、指示に従いインストールを実施してください。
- 4) TaskManagerおよびSystemManagerの接続先を設定してください。
『UCサーバ10.1.0オペレーションマニュアル』の『3.2. システムマネージャの接続先設定』を参照して、接続先を設定します。ここで「接続先ホスト」には以下内容を指定してください。

U/CサーバをインストールしたマシンのIPアドレス:8080

3. U/Cサーバのアンインストール

本節ではU/Cサーバのアンインストールを説明します。アンインストールは次の順番で行ってください。

- 1) TaskManager のアンインストール
- 2) SystemManager のアンインストール
- 3) データベース(PostgreSQL) のアンインストール
- 4) 広告EDI UCSのアンインストール

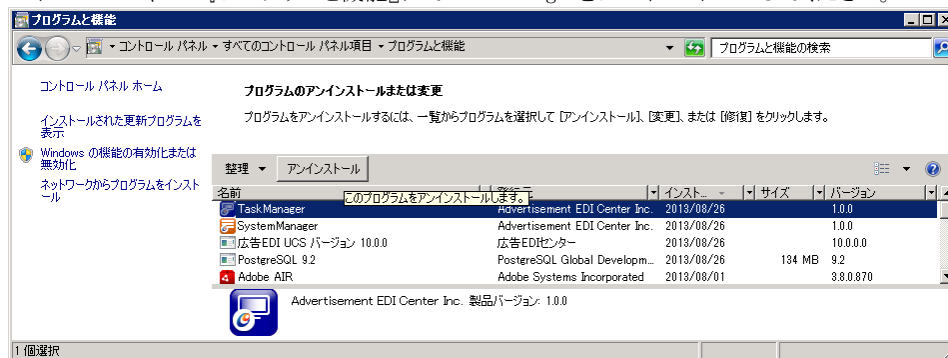
また、上記アンインストール後に必要に応じて手動で以下を行う必要があります。

- 5) ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール)を戻す
- 6) データベースのデータを削除
- 7) U/Cインストールフォルダを削除
- 8) システム環境変数の削除

3.1. アプリケーションのアンインストール

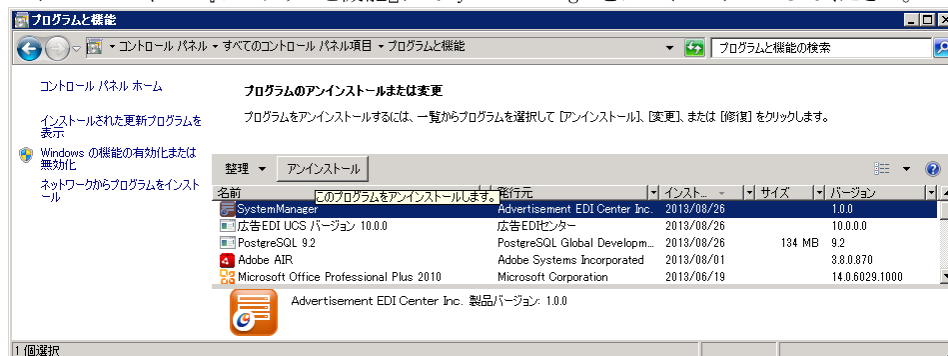
3.1.1. TaskManagerのアンインストール

コントロールパネルの『プログラムと機能』にてTaskManagerをアンインストールしてください。



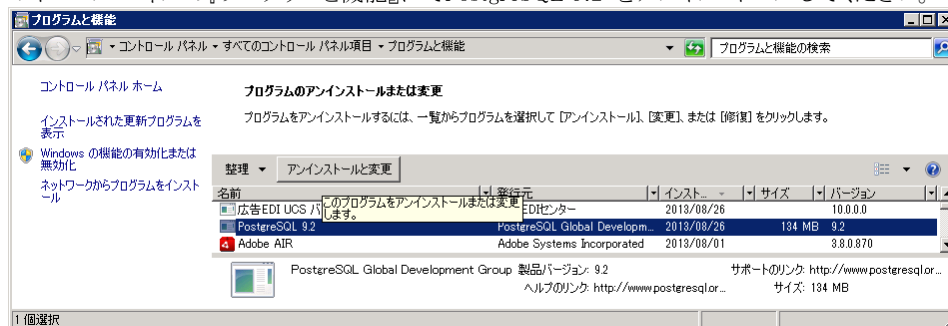
3.1.2. SystemManagerのアンインストール

コントロールパネルの『プログラムと機能』にてSystemManagerをアンインストールしてください。

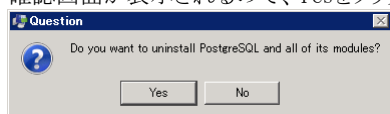


3.1.3. データベース(PostgreSQL)のアンインストール

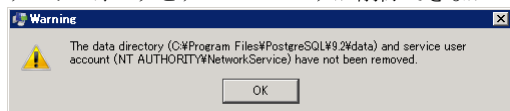
コントロールパネルの『プログラムと機能』にてPostgreSQL 9.2 をアンインストールしてください。



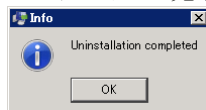
確認画面が表示されるので、Yesをクリックしてください。



データフォルダとサービスユーザが削除できなかった旨のメッセージが表示されますが、OKをクリックしてください。

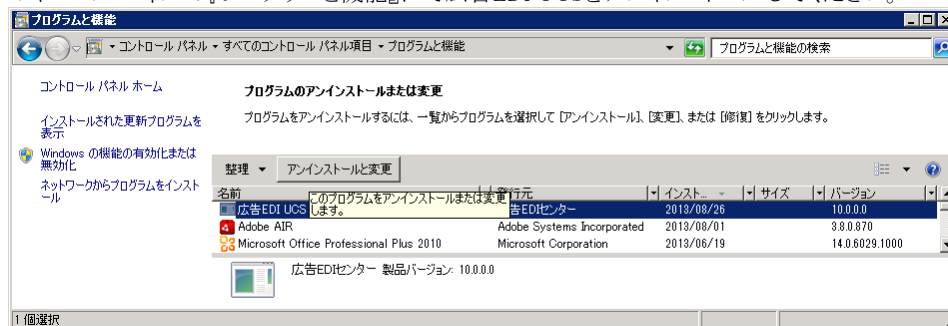


アンインストール完了の旨のメッセージが表示されます。

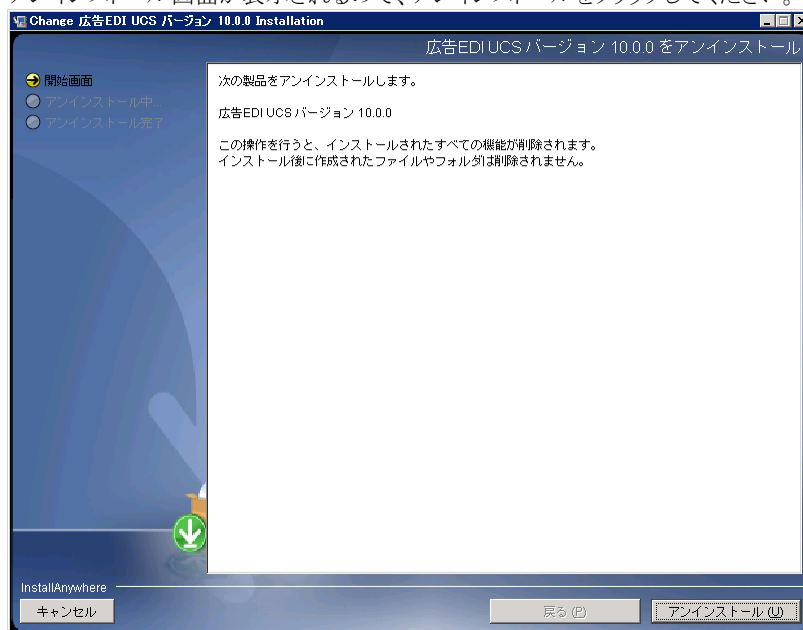


3.1.4. 広告EDI UCSのアンインストール

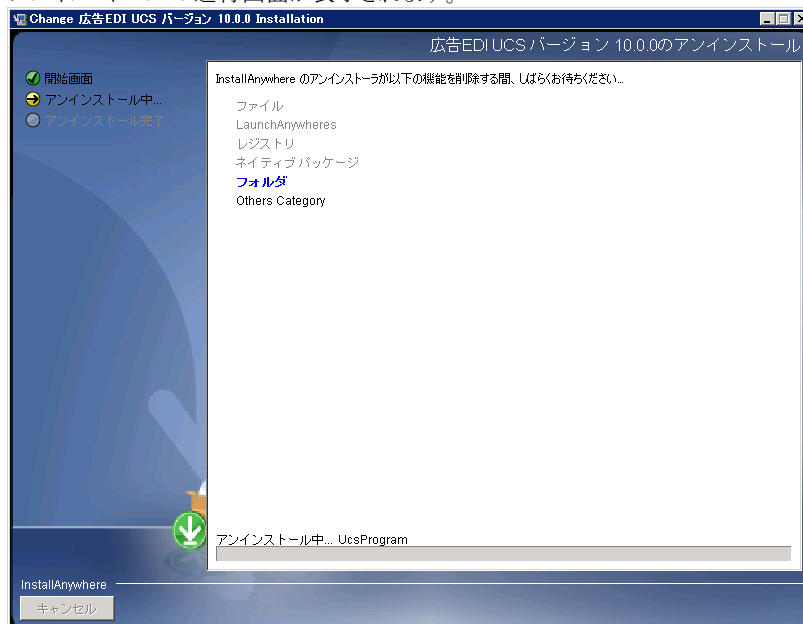
コントロールパネルの『プログラムと機能』にて広告EDI UCSをアンインストールしてください。



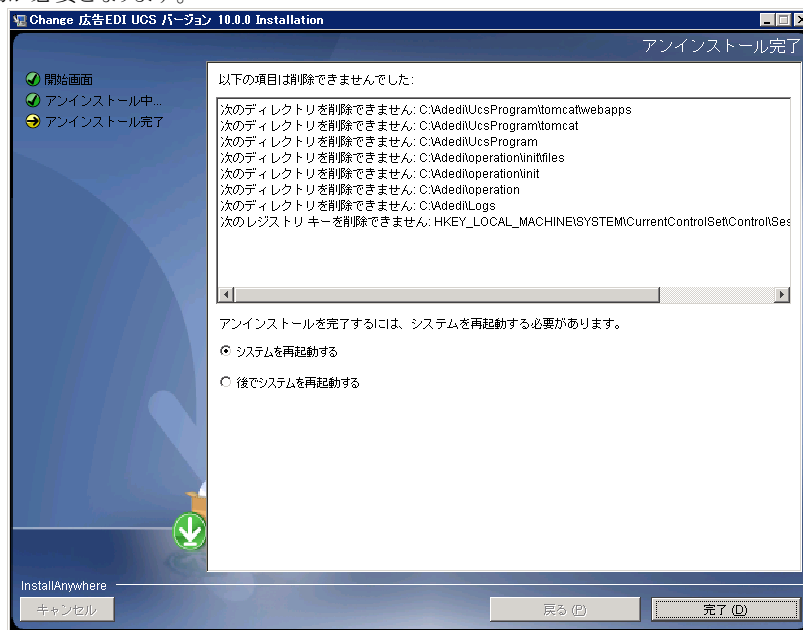
アンインストール画面が表示されるので、アンインストールをクリックしてください。



アンインストールの進行画面が表示されます。



自動でアンインストールは進み、完了画面が表示されます。複数のフォルダが削除できなかった旨のメッセージが表示されるので、3.2.3 U/Cインストールフォルダを削除 にて手で削除します。また、アンインストールを完了するにはOSの再起動が必要となります。



完了をクリックすると、アンインストールが終了します。

3.2. アンインストール時不要設定解除作業

3.2.1. ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール)

2.2.1ポートの使用許可設定 (Windowsファイアウォール)において追加した設定は自動で削除されません。Windowsファイアウォール画面より手動で追加した設定を削除してください。

3.2.2. データベースのデータを削除

PostgreSQL をインストールしたフォルダ (初期値ではC:\Program Files\PostgreSQL\9.2\に『data』というフォルダが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

3.2.3. U/Cインストールフォルダを削除

広告EDI UCSをインストールしたフォルダ (初期値ではC:\Aledi\にユーザ情報やログなどが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

3.2.4. システム環境変数を削除

広告EDI UCSのインストールによって、以下の情報がシステム環境変数に登録されています。

表 3-1 システム環境変数 登録内容

変数	値	説明
Path	PostgreSQLインストールフォルダ¥bin	Pathの末尾にPostgreSQLのインストールフォルダが追加されている
POSTGRESQL	PostgreSQLインストールフォルダ	新規に変数が追加されている
UCS_HOME	広告EDI UCSインストールフォルダ	新規に変数が追加されている

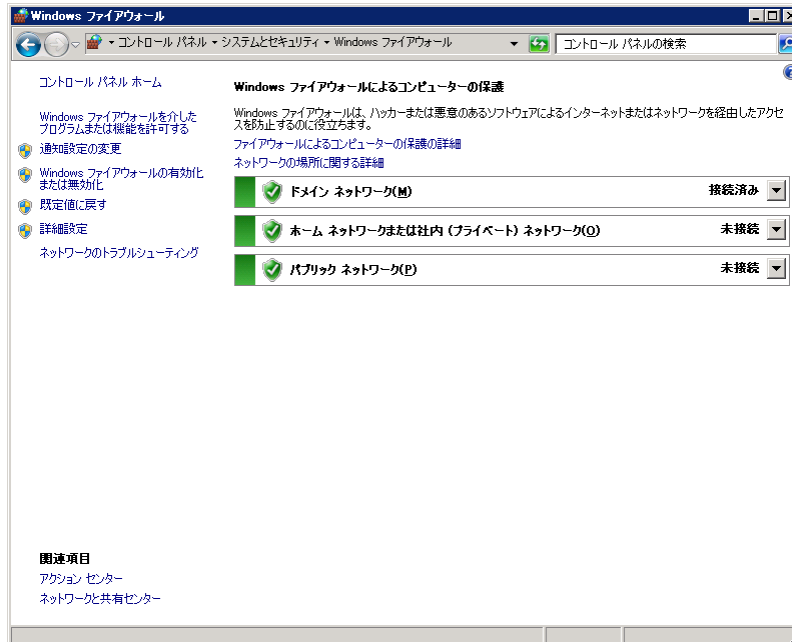
必要に応じて上記設定内容を手動削除してください。システム環境変数の設定は、コントロールパネルのシステムより、システムの詳細設定を開くことで確認ができます。

以上

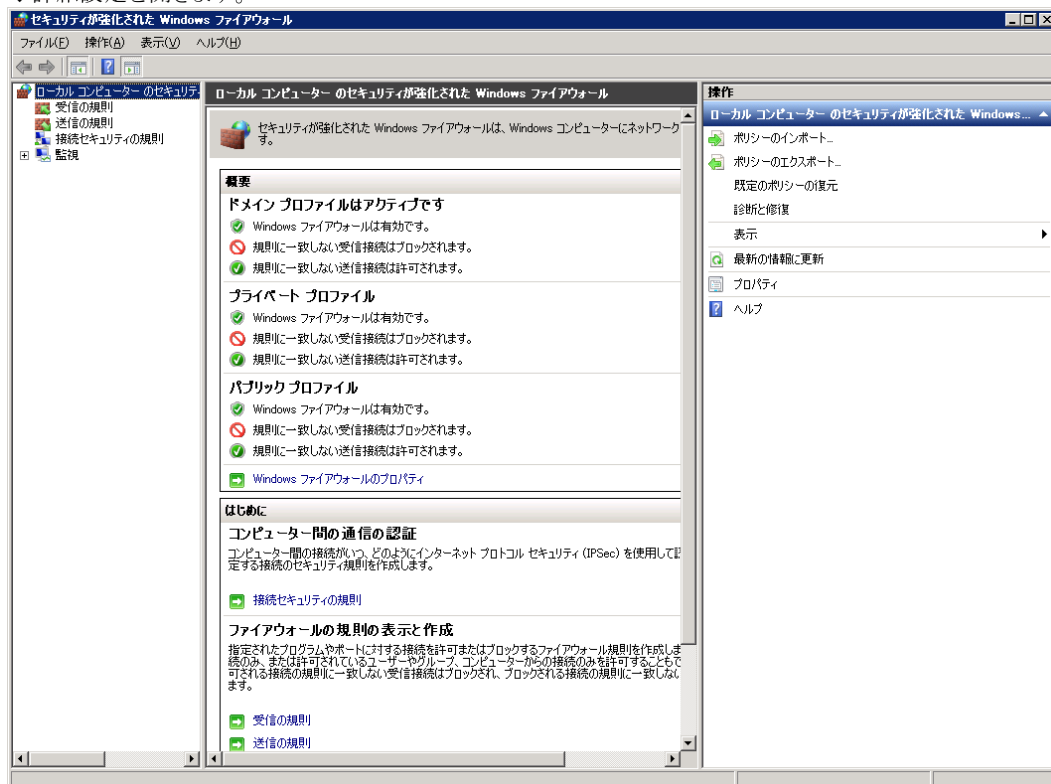
付録

付録A. Windowsファイアウォール設定手順

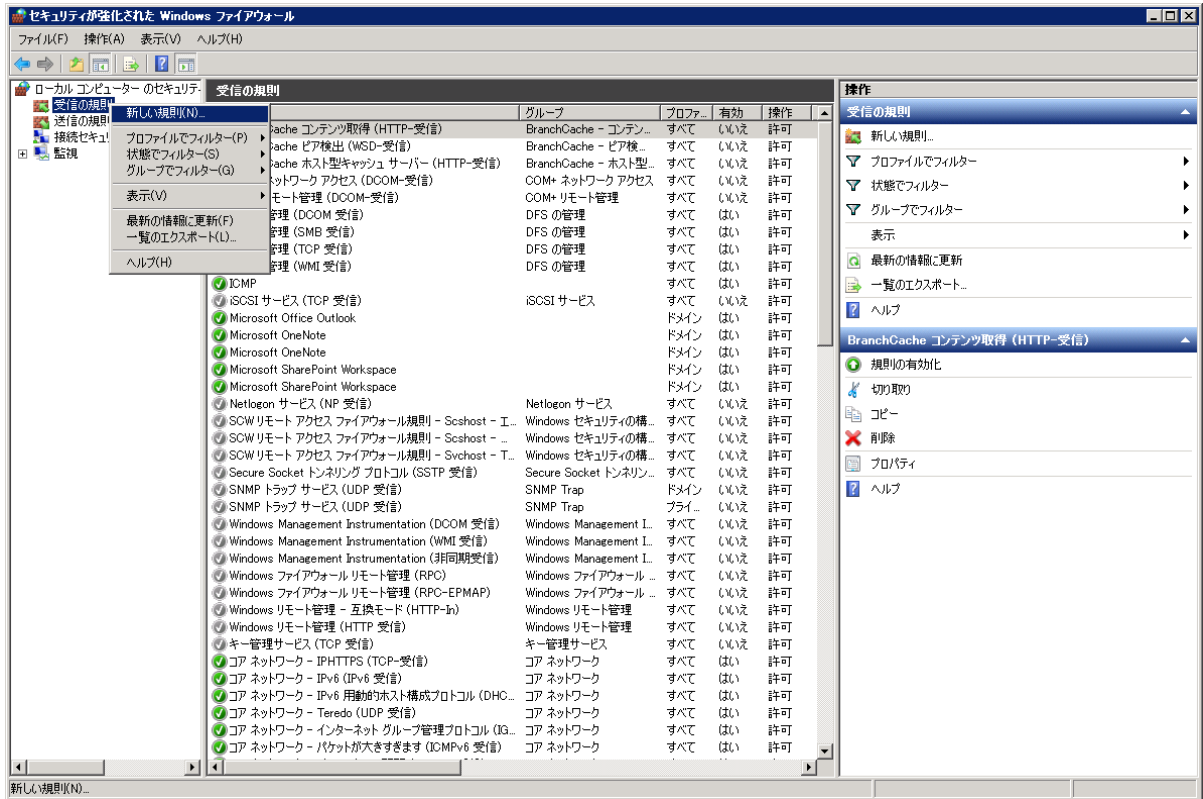
◆Windowsコントロールパネルより、Windows ファイアウォールを開きます。



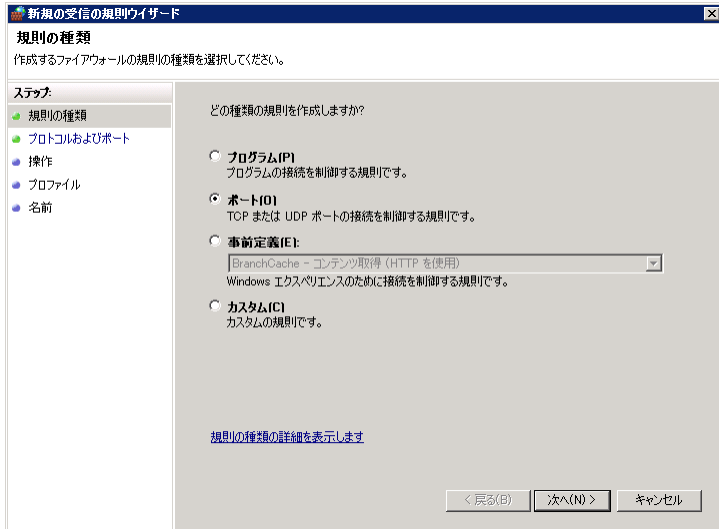
◆詳細設定を開きます。



◆受信の規則を新規作成します。



◆ポートに関する規則を新規作成します。



◆特定のローカルポートとして、U/Cで使用するポート番号を入力します。18ページの表 2-1 U/Cサーバで使用する通信ポートを参照し登録してください。

新規の受信の規則ウィザード

プロトコルおよびポート
この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?

☒ TCP(T)

☐ UDP(U)

すべてのローカル ポートと特定のローカル ポートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。

☐ すべてのローカル ポート(A)

☒ 特定のローカル ポート(S):

例: 80, 443, 5000-5010

[プロトコルとポートの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

◆「接続を許可する」を選択してください。

新規の受信の規則ウィザード

操作
規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

☒ 接続を許可する(A)

IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

☐ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)

IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

☐ 接続をブロックする(K)

[操作の詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

◆適用条件を選択します。お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。

新規の受信の規則ウィザード

プロファイル
この規則が適用されるプロファイルを指定してください。

ステップ:

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

☒ ドメイン(D)

コンピュータがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。

☒ プライベート(P)

コンピュータがプライベート ネットワークの場所に接続しているときに適用されます。

☒ パブリック(U)

コンピュータがパブリック ネットワークの場所に接続しているときに適用されます。

[プロファイルの詳細を表示します](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

◆名前と説明を入力してください。

新規の受信の規則ウィザード

名前
この規則の名称と説明を指定してください。

ステップ:

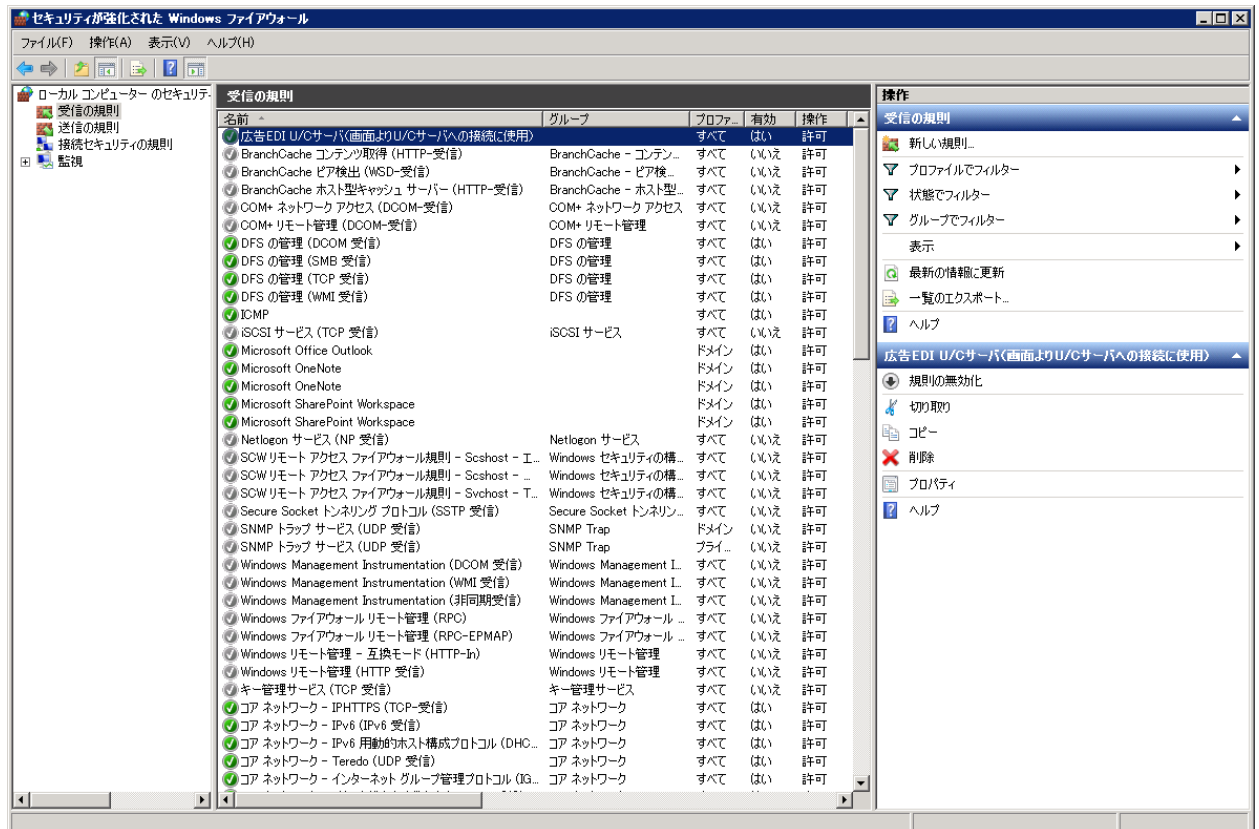
- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

名前(N):
[広告EDI U/Cサーバ(画面よりU/Cサーバへの接続に使用)]

説明 (オプション)(O):
クライアント画面よりU/Cサーバへの接続に使用します

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

完了をクリックすると登録されます。



登録内容が画面に表示されることを確認してください。